

しらかし

新潟市立豊栄図書館・松浜図書館報

No.56 2016年2・3月

「しらかし」は豊栄図書館正面にあるシンボルツリーの樹種です。

蔵書点検へのご協力、ありがとうございました。

豊栄図書館は1月20日から27日、松浜図書館は2月3日から10日まで蔵書点検のために休館させていただきました。利用者の皆さまにはご不便をおかけいたしましたが無事、作業を終了することができました。ありがとうございました。

蔵書点検は所蔵している資料のバーコードを1冊1冊確認し、あるべきところに本があるか、データと本が正しく一致するかなどを確認する作業です。

豊栄図書館は約21万点、松浜図書館は約4万1千点の資料を点検いたしました。

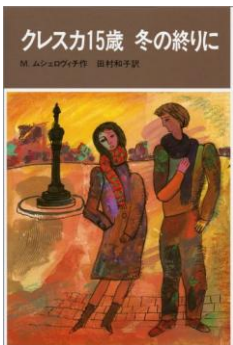
今後も利用しやすい図書館を目指して職員一同努めてまいります。

豊栄図書館

平成28年1月12日(火)

読書会 子どもの本がおもしろい!

を開催いたしました。



取り上げた本は・・・『クレスカ15歳 冬の終りに』

マウゴジャタ・ムシエロヴィチ/作 田村 和子/訳 (岩波書店)

戒厳令下、激動のポーランド。将来への希望を見出せない若者たちの中で、必死に自分の行く道を模索するクレスカと、それぞれの問題をかかえながらも懸命に生きる隣人たちとのさまざまな人間模様を描く。

◆参加者のコメント◆

- 人物描写がこまやか。ポーランド人作家の作品で人名になじみがなく覚えにくいのだが、的確な描写のおかげで混乱せずに読めた。
- ポーランドは遠い国だったが、この本は一気に読んでしまった。
- 執筆当時は検閲があったため、自主労組「連帯」や戒厳令について直接的な表現はできなかった。暗示的な表現にとどまったことで、かえって作品が古びず世代を超えて読み継がれている。
- ゲノヴェファの行動にはびっくりした。ゲノヴェファが訪れたそれぞれの家庭がごく自然に少女を招き入れるところにも驚いた。(裏面に続きます)



- 15歳の主人公クレスカと18歳のマチェクの恋が描かれるが、青春というのはすごい。どんな社会情勢でも人は生き、恋をするのだなと感動した。
- 自意識過剰なところもあるマチェク、マチェクを意識するあまりがさつにふるまってしまうクレスカ…いかにも思春期の若者らしい姿が描かれていた。
- クレスカは言いたいことも言い、近所の家庭との付き合いもこなしている。15歳の頃の自分や、周囲の15歳と比べて大人に思えた。
- 家庭料理がどれもおいしそうだった。じゃがいもだんごや炒めた脂身、原題（『ロスウの中の阿片』）にもなっているロスウ（パイヨン）など、湯気のたつあたたかい料理を囲む食卓の様子が描かれている。戸外の寒さや、家庭に問題をかかえるゲノヴェファの状況と対照的だった。
- 戒厳令下のポーランドが舞台。お金はなく苦しい生活にも関わらずおしゃれで文化的に感じられた。そうありたいという姿勢や、生活の余裕がすてきだと思った。
- 英米文学以外の文学作品に触れる機会になった。読書会で取り上げてもらってよかった。

豊栄図書館では、隔月（奇数月）に読書会を開催しています。**ぜひ、ご参加ください。**

松浜図書館



★フチ・リニューアル!

カウンター前に記載台を設置しました。
椅子に座って申込書や予約カードの記入が出来ます。また、調査相談も受け付けしています。どうぞ、お気軽にご利用ください。



★松浜図書館の棚から ③ 文学全集コーナー

一般書窓側の書架に文学全集コーナーを設けています。山崎豊子をはじめ山本周五郎、隆慶一郎といった個人全集のほか、現在刊行中の『日本文学全集』（河出書房新社）もあります。読んでみたかった作品が見つかるかも…!



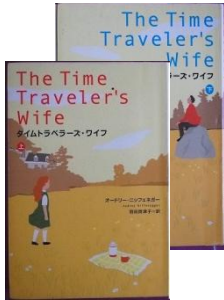
わたしの一冊

一般書

『タイムトラベラーズ・ワイフ』 上・下

オードリー・ニッフェネガー／著 羽田 詩津子／訳

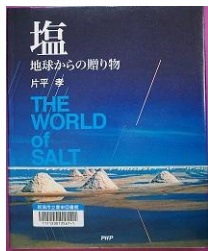
(ランダムハウス講談社)



2009年に公開された映画「きみがぼくを見つけた日」の原作小説。自分の意思とは関係なくタイムトラベルをしてしまうヘンリーと、その妻クレアの愛の物語です。ヘンリーとクレアのそれぞれの視点から交互に描かれており、二人の喜びや苦悩が伝わってきます。突然起こる“タイムトラベル”という困難を抱えながらも、お互いを愛し続ける姿が印象的な作品です。 (芹野)

ティーンズ

『塩 地球からの贈り物』 片平 孝／著 (PHP研究所)



「塩」の歴史・文化・科学を紹介した写真図鑑。小さな頃、湖にぷかりと浮かびながら本を読む人々の写真に驚いた記憶があります。その「死海」は、2050年までに完全に干上がってしまうと言われていきます。雨期に鏡のように風景を映し出すウユニ塩湖や黒いカテラドルと呼ばれるシパキラ岩塩教会、日本の原風景ともいえる能登の塩田なども紹介されており、塩に魅せられた著者の力強い写真に圧倒させられるでしょう。 (栗谷川)

児童書

『かしこい単細胞 粘菌』 中垣 俊之／文

斉藤 俊行／絵 (福音館書店)



単細胞生物の「粘菌」をご存知でしょうか。私たちの身近にある、藪の中のじめじめしたところに生息しているこの菌は、生物の分類上どこにも当てはまらない不思議な存在です。最も原始的で細胞がひとつしかない粘菌ですが、実は好き嫌いがあったり、時間を記憶したり、餌を探して迷路まで解いてしまう能力を持っています。粘菌の賢さに驚いてしまうこと請け合いの1冊です。 (山本)

絵本

『うできき四人きょうだい』 グリム童話

フェリクス・ホフマン／画 寺岡 寿子／訳 (福音館書店)



貧しい四人兄弟がそれぞれ手に職をつけ、故郷に帰って来ました。そんな時、国のお姫様が竜にさらわれたという知らせが届きます。兄弟は得意技を活かして、お姫様の救出に向かいます。

果たして、四人は無事にお姫さまを助け出すことができるでしょうか？そして一番役に立ち、お姫様と結婚できた兄弟は誰でしょう？ (石田)



豊栄図書館

読書会 子どもの本がおもしろい!

3月8日(火) 10:30~12:00

『山賊のむすめローニャ』

アストリッド・リンドグレン/作
大塚 勇三/訳(岩波書店)
集会室にて

第40回 大人のためのおはなし会

豊栄図書館でおはなしの勉強をした人が、
いろいろな国の昔話を語ります。

★中学生以上

3月19日(土)

15:00~16:30 集会室にて
※申し込みは不要です。直接会場へ。

松浜図書館

としょかんのおはなしのじかん

★赤ちゃん(0~2歳)向け
毎週木曜日 11:00~11:20
北地区公民館2階・和室にて

★幼児・児童
毎週日曜日 15:00~15:20
図書館内・児童コーナーにて

としょかんのおはなしのじかん

★赤ちゃん(0~2歳)向け
毎週土曜日 10:30~10:50

★5歳以上向け(子どものみ)
毎週日曜日 10:30~11:00

おはなしのへやにて

ボランティアによるおはなしのじかん

★幼児から
毎月 第1・3・4土曜日
14:00~14:30
毎月 第2・4日曜日
14:00~14:30

おはなしのへやにて

わらべうたのじかん このゆびとまれ♪

★幼児と保護者
毎月 第2土曜日
3月12日

14:00~14:45 集会室にて



としょかんのおはなしのじかん

★赤ちゃん(0~2歳)向け
毎週木曜日 11:00~11:20
北地区公民館2階・和室にて

★幼児・児童
毎週日曜日 15:00~15:20
図書館内・児童コーナーにて

ボランティアによるおはなしのじかん

★乳幼児から
毎月 第2土曜日 11:00~11:30
3月12日

北地区公民館2階・和室にて